

# 八街市協働のまちづくり・第3分科会最終報告書

テーマ：防犯・防災・ボランティア

平成27年1月9日（金）

## ☆ 協働のまちづくりの方向性

### (1) 市民活動・地域における環境・仕組みづくり

#### ①活動主体の（地域の諸団体）のあり方

##### 「活動団体の横の繋がりを強化しよう」

防災・防犯・ボランティア、NPOなどの活動がそれぞれ個別に行われているが、現状では、各種団体の実態について十分に把握できていなかったり、取り組みによって対応する行政の部署が異なったりするため。

活動状況や活動内容について情報交換を行い、連携して活動する。

#### ②活動主体が相互に連携できる環境

##### 「声かけ・あいさつ運動を推進しよう」

近所にどんな人が暮らしているのかわからないので、自助・共助のなかで素早い適切な行動がとれないため。

日常的に気軽に声かけ、あいさつを行うことにより近所にどのような人がいるか把握できる。

#### ③地域資源が循環する取り組み

##### 「商店、事業所との連携を強化しよう」

商店や事業所の店舗の一角に防災グッズコーナーを設け、防災関連商品の販売をすると共に、防災パンフレットや防災情報の提供をし、地域の防災情報ステーションの役割となる。

### (2) 行政における環境・仕組みづくり

#### ①市民参加の環境

##### 「市民が参加しやすい仕組みを構築しよう」

市民に浸透し、実際に多くの市民に参加してもらえなければ、防犯・防災に強いまちづくりにはつながらないので、市民が参加しやすいようにわかりやすい情報提供や参加してみたいと思える仕組みづくりが必要であるため。

#### ②市民活動・地域活動への支援

##### 「市民活動・地域活動を応援しよう」

協働の目的や仕組みをはじめ、現在行われている防災・防犯・ボランティア、NPOなどの活動状況を広報紙やホームページ等で積極的に周知し、活動の輪をさらに広める必要があるため。

##### 「情報が共有できる仕組みを構築しよう」

各種団体の情報公開の方法について、わかりやすい仕組みをつくとともに、一層積極的な行政や地域の課題を市民と共有することが求められているため。

③地域資源を活用する体制（制度、手続き）

「活動団体の横の繋がりがもてる制度を構築しよう」

防災・防犯・ボランティア、NPO などの活動と地域の関わりについて、お互いが協力し、その活動を活かし合えるルールや制度をつくり、地域全体の力として高めていく必要があるため。

☆ 八街市協働のまちづくり行動理念

- ・標語1 人と人がふれあい、つながりのある地域を目指しましょう。
- ・標語2 地域での犯罪を許さない街を目指しましょう。
- ・標語3 自らの地域は自らで守り育てましょう。
- ・標語4 ボランティア活動で心豊かに生活できるいきいきとした街を目指しましょう。
- ・標語5 日頃から災害に対する備えと防災意識を高めましょう。
- ・標語6 情報を発信、共有しみんなで話し合う街にしましょう。
- ・標語7 声かけ、あいさつをし、顔の見える街にしましょう。
- ・標語8 自助、共助、公助で安全、安心な街をつくりましょう。
- ・標語9 市民ひとりひとりが自分で考え、行動する街をつくりましょう。
- ・標語10 できる事から始める「参加する意識」を心がけましょう。
- ・標語11 地域へとけこみ「真の八街市民」になりましょう。

☆ 協働のまちづくりのアイデア

(1) 地域における取り組み方法

[防犯]

\* 声かけ・あいさつ運動の推進

\* ○○しながらパトロール

[防災]

\* 区、町内会等の加入促進により地域の連帯感を強化する

[ボランティア]

\* 1日1回ボランティア宣言（10分間ボランティア宣言）

(2) 行政における取り組み方法

[防犯]

\* 区組織、町内会組織を活用した呼びかけをする

\* 「広報やちまた」や「ホームページ」の活用

[防災]

- \* 回覧板に防災時の心構え等を記載し常に意識づけをする

[ボランティア]

- \* ボランティアセンターの充実

(3) 市民と行政との関係を充実させる方法

[防犯]

- \* 登下校の児童・生徒の見守り
- \* 防犯団体の設立促進及び防犯団体間の情報交換会の開催
- \* 学区単位に連携（市民、各団体、行政が連携する）
- \* 市の花「ヒマワリ」を育てる（ヒマワリロード等）
- \* 「子ども110番の家」の推進

[防災]

- \* 自主防災組織の設立を促進する
- \* 防災予防教室や防災訓練の実施と参加
- \* 商店、事業所とタイアップして防災フェアを開催（防災コーナーの設置）
- \* 地域安全（防犯・防災）マップの作成

[ボランティア]

- \* ボランティア活動の啓発
- \* ボランティアネットワークの構築
- \* ボランティア組織の有効活用

○附則

八街市の協働を進める上でのキャッチフレーズがあると進めやすいと考え、次のようなアイデアを考えました。

1.

や --- やさしい気もちで  
ち --- 地いきをむすび  
ま --- 街をつくれば  
た --- たのしい未来

2. 協働のイメージ『落花生の花』

協働とは、大地の中に根付く落花生のように、人々の心が地域に広がり、やがて花となり実を結ぶこと

3.

落花生讃

いつ知らず 葉は繁り 花咲きて 人知れず 土に稔りぬ 白鳥省吾

この落花生讃にあるように、地道ではあるけれど、着実に成長して、実を結ぶような協働のまちづくりを進める。